

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：観光協会補助金額				指標の求め方：観光協会補助金額										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：市全体の観光入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数										
活動指標 2		指標名：				指標の求め方：										
成果指標 2		指標名：砂川ハイウェイオアシス館以外の観光入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数のうち砂川ハイウェイオアシス館以外の年間観光入込客数 (内数)										
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	9,471,000	9,471,000	9,471,000		9,471,000	9,471,000	9,471,000		9,471,000	9,471,000	9,471,000	9,471,000		
		実績値	9,471,000	9,471,000	9,411,000		9,471,000	9,471,000	9,991,000		10,397,000	9,162,000	10,097,000			
	成果指標 1 (単位/人)	計画値	1,890,000	1,899,000	1,901,000		1,917,200	1,926,000	1,934,800		1,943,600	1,952,400	1,959,000	1,970,000		
		実績値	1,436,300	1,375,000	1,367,300		1,362,000	1,234,337	1,209,300		1,412,700	1,622,640	1,625,230			
	活動指標 2 (単位/人)	計画値														
		実績値														
成果指標 2 (単位/人)	計画値	566,000	568,900	571,600		574,300	577,000	579,600		582,200	584,800	587,400	590,000			
	実績値	450,900	461,000	423,300		469,287	395,698	405,600		390,800	516,348	540,751				
事業	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている					達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない				上がっていない					変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					あまり上がっていない				上がっていない					変わらない	
	総合評価					問題がある				問題がある					普通である	
	評価内容		自己分析：補助金は計画通り執行されている。一方、市全体の観光入込客数及びハイウェイオアシス館以外の観光入込客数共に減少が見られる。いずれも震災の影響によるものと考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、入込客数については減少している。	自己分析：補助金は観光協会側で一部補助事業の廃止があったことから減額されている。入込客数については減少している。	判断理由：補助金は計画通り執行している一方、入込客数には反映されていないことから、問題があると判断した。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。入込客数については減少している一方、オアシス館を除く入込客数は増加している。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。大型バスの料金値上げがあり、大型バスツアーが減少し、入込客数については全体的に減少している。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。ハイウェイオアシス館において大型バスツアーが減少し、入込客数については全体的に減少している。	判断理由：補助金は計画通り執行している一方、入込客数には反映されていないことから、問題があると判断した。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。ハイウェイオアシス館がリニューアルし、直産市場や新しいレストランがオープンしたことに入込客数については増加した。	自己分析：観光協会において、補助金を効果的に活用し、事務所運営や各団体への支援、ホームページによる効果的な情報発信が行われたほか、新規の自主事業として「マラニック」を開催し賑わいを得たことも観光入込客数の増加につながったものと判断される。	自己分析：観光協会において補助金を効果的に活用し、事務所運営や各団体への支援、ホームページによる効果的な情報発信が行われたほか、新規の自主事業として「マラニック」を開催し賑わいを得たことも観光入込客数の増加につながったものと判断される。	自己分析：	判断理由：補助金を活用したイベントの充実と、ホームページを改良した事によるPR効果によって、昨年に比べ観光入込客集が増加したが、計画値に届いていない状況から普通と判断した。	
今後の方向性					手段の見直し				手段の見直し					現状のまま継続		
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：観光協会については、その出自からもイベントへの補助金支出にウェイトが置かれており、観光PR等本来の観光事業にあまりウェイトが置かれていなかった経過がある。しかし、協会内部からも観光PR等の事業にも積極的に参画するべきだという意見も出ており、少しずつではあるがそういった活動への参加も見られる。今後は事業内容を必要に応じて検討しつつ、より効果的な観光事業の遂行に努めるべく支援を行いたい。				H28：観光協会については、その出自からもイベントへの補助金支出にウェイトが置かれており、観光PR等本来の観光事業にあまりウェイトが置かれていなかった経過があるが、ここ数年は観光PR等にも少しずつではあるが力を入れており、H28年度は、観光協会HPを改修し、情報発信の強化を図る。今後は事業内容を必要に応じて検討しつつ、より効果的な観光事業の遂行に努めるべく支援を行いたい。				H30：観光協会の活動については、イベントの充実とともに、ホームページの改修による観光PRが効果的に行われていることにより、観光入込客数の増加につながっている。観光振興の中核的存在として、事務局体制強化が図られるよう観光協会への補助を継続するとともに、効率的な事業展開に向け連携を図っていく必要がある。						

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	納涼花火大会支援事業				事業期間	昭和 46 年度 ～ — 年度						所管課係	商工労働観光課観光係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	5-5-1	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	-	
目的 (何のために実施するのか)	納涼花火大会に協賛する立場から事業費の一部を補助することにより、納涼花火大会が円滑かつ盛大に行われ、市民の融和、市民生活の活力を養うとともに地域の活性化と観光振興の推進強化を図る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		納涼花火大会に協賛する立場から事業費の一部を定額補助金として交付する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	砂川商工会議所（補助金支出先）						成果 (どのような効果が得られるのか)		当市の夏を彩る風物詩として定着しており、地域住民をはじめ、近隣市町村から多くの見物客を集容しており、観光振興と地域における経済波及効果が生まれている。					
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	ラブ・リバー砂川夏まつりに併せて行われる納涼花火大会は、郷土の季節を彩る風物詩として定着してきた。近年、周辺自治体等による花火大会が休止となるなか、砂川納涼花火大会が市民をはじめ近隣住民の楽しみとなっている。行財政改革により、平成17年度及び平成20年度にそれぞれ10%の事業費削減を経ている一方、平成24年度より地域への経済波及効果を図り797,000円の増額を行っている。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年計	
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	道費	計画額				0			0						0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	地方債	計画額				0			0						0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0		1,000,000	1,000,000						0	1,000,000
	その他	計画額				0			0						0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
一般財源	計画額	203,000	203,000	203,000	609,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000	7,609,000	
	予算計上額	203,000	1,000,000	1,000,000	2,203,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	5,000,000	10,203,000	
	実績額	203,000	1,000,000	100,000	1,303,000	1,000,000	0	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000		3,000,000	6,303,000	
事業費合計	計画額	203,000	203,000	203,000	609,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000	7,609,000	
	予算計上額	203,000	1,000,000	1,000,000	2,203,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000	5,000,000	10,203,000	
	実績額	203,000	1,000,000	100,000	1,303,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000	7,303,000	
事業費予算の内容	納涼花火大会補助金		納涼花火大会補助金	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	第50回納涼花火大会補助金			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	規模の拡大を図り、地域への経済波及を促進する狙いで増額：797,000円	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	第50回記念として規模の拡大を図り、街の賑わいを促進するため増額			
	実績との比較 (増減理由)	同額	同額	同額		同額	同額	同額		同額	同額	同額				

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：納涼花火大会補助金額				指標の求め方：納涼花火大会補助金額										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：市全体の観光入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数										
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000			
		実績値	203,000	1,000,000	100,000				1,000,000	1,000,000	1,000,000			1,000,000		
指標	成果指標 1 (単位/人)	計画値	1,890,000	1,899,000	1,901,000			1,917,200	1,926,000	1,934,800			1,943,600	1,952,400	1,959,000	1,970,000
		実績値	1,436,300	1,375,000	1,367,300			1,362,000	1,234,337	1,209,300			1,412,700	1,622,640	1,625,230	
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)															達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)															上がっていない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)															少し上がっている
	総合評価															良好である
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	判断理由：補助金は計画通り執行されているが、市内の観光入込客数に反映されていない一方、ラブリバー砂川夏まつりについては砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、良好であると判断した。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されているが、市内の観光入込客数に反映されていない一方、ラブリバー砂川夏まつりについては砂川の名物イベントとして定着している事業であることから、良好であると判断した。	自己分析：補助金は計画通り執行されているが、市内の観光入込客数は増加した。納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している。	自己分析：前年度と同額の補助を行い、例年と同規模の花火大会が開催された事で、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」と合わせ、2万人ほどの集客があった。砂川の夏のイベントとして定着しており、引き続き、事業の充実を図っていくべきと判断される。	自己分析：商工会議所において補助金を効果的に活用し、前年と同規模の花火の打ち上げが行われたことで、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」の賑わいはもとより、街全体の観光振興につながったものと判断される。	自己分析：補助金を計画通りに執行し、同規模の花火大会が実施される事で、砂川の夏のイベントとして定着している。毎年2万人ほどの集客がある事から、総合評価は良好であると判断した。			
今後の方向性																現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：納涼花火大会は砂川の夏の名物イベントとして定着しており、市民へ楽しさを与える他、市外からの訪問客の誘致にもつながっており、市内の経済効果にもつながることから、現状のまま継続することが必要と考える。				H28：納涼花火大会は砂川の夏の名物イベントとして定着しており、市民へ楽しさを与える他、市外からの訪問客の誘致にもつながっており、市内の経済効果にもつながることから、現状のまま継続することが必要と考える。				H30：納涼花火大会は、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」と合わせ、砂川の夏のイベントとして定着しており、毎年、市内外から2万人ほどの誘客が見込まれる事業である事から、現状のまま継続する必要がある。							

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：倉庫使用イベント団体数				指標の求め方：倉庫使用イベント団体数									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：倉庫使用イベント団体のイベント実施数				指標の求め方：倉庫使用イベント団体のイベント実施数									
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値								6	6	6	6		
		実績値								7					
指標	成果指標 1 (単位/件)	計画値								6	6	6	6		
		実績値								9					
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)														
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)														
	事業の効率性 (事業費に対する成果)														
	総合評価														
	評価内容		自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：計画通りに執行している	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
今後の方向性															
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：				H28：				H30：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：外国人宿泊率	指標の求め方：外国人宿泊率
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：観光入込客数	指標の求め方：観光入込客数

指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値	実績値					10	15	20				
	成果指標 1 (単位/人)	計画値	実績値					1,264,000	1,304,000	1,342,000				
								1,412,700	1,622,640	1,625,230				
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)										あまり達成されていない			
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)										少し上がっている			
	事業の効率性 (事業費に対する成果)										少し上がっている			
	総合評価										普通である			
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
	今後の方向性										現状のまま継続			
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：				H28：				H30： 「すながわスイーツ」を活かした街づくりにおいて、効果的な事業を行うとともに、観光パンフレット、ホームページ、観光PRブースへの出店、テレビ、ラジオ、雑誌、各種SNSなど様々な手法を用いて積極的なPR活動を行い、砂川市のイメージアップと知名度の向上を図る事で、外国人を含む観光入込客数の増加につながっているものであり、引き続き、内容の精査を行った中で観光事業の促進を図っていく必要がある。				

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	観光客誘致環境整備事業				事業期間	平成 23 年度 ～ 年度						所管課係	商工労働観光課観光係	
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	5-5-2	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	-	
目的 (何のために実施するのか)	オアシスパークならではの眺望の良さを活用して新たなバスツアー等を誘致することにより、地域の特性を生かした観光振興を図る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		自然体験型観光としてサイクリング用自転車を市民よりの寄贈により取得し、オアシスパーク来訪者に貸与する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	オアシスパーク来訪者。						成果 (どのような効果が得られるのか)		観光資源の魅力を掘り起こすことにより観光客等の市内滞在時間の延長が図られ、観光入込客数の増加とまちなか活性化に寄与する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行事内容含む)	砂川オアシスパークの眺望の良さを活かし、観光客誘致促進を目的とし遊水地周辺を無料レンタル自転車で回遊する事業として、平成23年度から実施。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入 され た 事業 費 の 推 移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一般財源	計画額	1,708,000			1,708,000	0	0	0	0	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	1,992,000	
	予算計上額	1,708,000	9,000	0	1,717,000	71,000	71,000	71,000	213,000	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	2,214,000	
	実績額	964,425	9,000	71,000	1,044,425	0	62,835	32,400	95,235	0	28,877	0	0	28,877	1,168,537	
事業費合計	計画額	1,708,000	0	0	1,708,000	0	0	0	0	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	1,992,000	
	予算計上額	1,708,000	9,000	0	1,717,000	71,000	71,000	71,000	213,000	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	2,214,000	
	実績額	964,425	9,000	71,000	1,044,425	0	62,835	32,400	95,235	0	28,877	0	0	28,877	1,168,537	
事業費予算の内容	自転車用車庫購入費		ヘルメット購入費9,000円	修繕料71,000円		修繕料71,000円	修繕料71,000円	修繕料71,000円		修繕料71,000円	修繕料71,000円	修繕料71,000円	修繕料71,000円			
	前年度予算との比較 (増減理由)	H23新規事業	ヘルメット購入費9,000円増			同額	同額	同額		同額	同額	同額	同額			
	実績との比較 (増減理由)	自転車購入をせず、中古自転車 で事業を実施した為	同額	自転車の修繕を行ったため		修繕が必要なかったため	当初予算より、 修繕が減少したことによる	当初予算より、 修繕が減少したことによる		修繕が必要なかったため	当初予算に比べ、 修繕が少額であったため	修繕が必要なかったため				

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：サイクリング用自転車貸出件数				指標の求め方：サイクリング用自転車貸出件数									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：市全体の観光客入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数									
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値	50	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200		
		実績値	51	206	158	173	265	297	337	172	197				
指標	成果指標 1 (単位/件)	計画値	1,890,000	1,899,000	1,901,000	1,917,200	1,926,000	1,934,800	1,943,600	1,952,400	1,959,000	1,970,000			
		実績値	1,436,300	1,375,000	1,367,300	1,362,000	1,234,337	1,209,300	1,412,700	1,622,640	1,625,230				
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)													達成されている	ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)													あまり上がっていない	変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)													上がっている	変わらない
	総合評価													普通である	普通である
	評価内容	総評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：貸出数は概ね計画通りであった。一方、ツアーの誘致数については、平成23年度まで実施していた新聞社主催のツアーが中止されたことから、計画値には至っていない。計画値については平成23年度は年度途中実施であり、24年度以降は1年度実施を前提とした計画値である。	自己分析：貸出件数については計画より増が見られる。一方、観光客の入込客数については計画より減少が見られる。	自己分析：貸出件数、観光客の入込客数共に計画値より減少が見られる。	判断理由：貸出件数は計画値を達成していない一方、利用者からはよい反応が見られることから普通であると判断した。	自己分析：貸出件数、観光客の入込客数共に計画値より減少が見られる一方、貸出件数は計画値より増加している。	自己分析：観光客の入込客数は計画値より減少が見られる一方、貸出件数は計画値より増加している。	自己分析：観光客の入込客数は計画値より減少が見られる一方、貸出件数は計画値より増加している。	判断理由：貸出件数は計画値を達成しており、利用者からもよい反応が見られることから良好であると判断した。	自己分析：観光客の入込客数は前年度より増加しており、貸出件数も計画値より増加している。	自己分析：サイクリング用自転車の貸出件数が計画値を下回り、シーズン開始前の点検（TS保険加入）によって安全な状態で貸出しが行われた。また、効果的な観光PRを行ったことで、利用件数は前年度より若干増え、観光入込客数の増加につながったものと判断される。	自己分析：サイクリング用自転車は全部で12台配置しており、シーズン開始前の点検（TS保険加入）によって安全な状態で貸出しが行われた。また、効果的な観光PRを行ったことで、利用件数は前年度より若干増え、観光入込客数の増加につながったものと判断される。	自己分析：観光入込客数は前年度より増加したところであり、観光の利便性としての役割は一定程度果たしているものと判断したが、積極的な貸出事業のPRにより、オアシスパーク周辺の賑わいの創出を図っていく必要があると考えられる。	
	今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続	
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：本事業は市民から提供を受けた自転車を活用しており、低コストであること、その一方利用実績が良く、利用者からも好評を得ていることから、継続していきたいと考えているが、中古自転車であり、長期的な利用に不安材料もあることから、今後事業を継続するにあたり、自転車の確保について検討の必要があると考えられる。				H28：本事業は市民から提供を受けた自転車を活用していることから低コストであり、利用実績も良く、利用者からも好評を得ていることから、継続していきたいと考えているが、中古自転車であり、長期的な利用に不安材料もあることから、今後事業を継続するにあたり、自転車の確保について検討の必要があると考えられる。				H30：本事業は、低コストで観光客の利便性が図られるため、利用者からも好評を得ており、積極的にPRを行い利用を促進する事でオアシスパーク周辺の賑わいの創出につながると判断される事から、引き続き、利用実態の把握を行った中で、観光客のニーズに対応した取り組みとなるよう検討を行っていく必要がある。					

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	観光宣伝事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度						所管課係	商工労働観光課観光係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	5-5-3	他に関連する基本事業	5-5-1	5-5-2	- -	- -	- -		
目的 (何のために実施するのか)	観光パンフレットを活用した啓発活動を展開することにより、道内外居住者に対する当市イメージアップと知名度向上、観光の振興を図る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		現行の観光パンフレットは記載内容、デザインにおいて好評を博していることから、記載内容および写真データを定期的に更新することにより、内容の正確性を確保する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	観光パンフレット。						成果 (どのような効果が得られるのか)		既存レイアウトを活かして更新することにより経費が大幅に節減できるとともに、観光パンフレットの認知度を維持しつつ、正確性も確保できる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	従前の観光パンフレットは平成17年度に作成しており、6年が経過しており内容も古くなっていること、市として紹介したい内容についても変わっていることから、最新の観光情報を伝えるため、平成23年度に観光パンフレットをリニューアルする。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31年度)	第10年次 (32年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一般財源	計画額	709,000			709,000	616,000	616,000	616,000	1,848,000	530,000	682,000	682,000	682,000	2,576,000	5,133,000	
	予算計上額	709,000	285,000	510,000	1,504,000	616,000	682,000	682,000	1,980,000	0	0			0	3,484,000	
	実績額	682,500	285,000	509,250	1,476,750	615,600	680,400	681,912	1,977,912	0				0	3,454,662	
事業費合計	計画額	709,000	0	0	709,000	616,000	616,000	616,000	1,848,000	530,000	682,000	682,000	682,000	2,576,000	5,133,000	
	予算計上額	709,000	285,000	510,000	1,504,000	616,000	682,000	682,000	1,980,000	0	0	0	0	0	3,484,000	
	実績額	682,500	285,000	509,250	1,476,750	615,600	680,400	681,912	1,977,912	0	0	0	0	0	3,454,662	
事業費予算の内容	観光パンフレット印刷費	増刷のため予算計上	増刷のため予算計上		増刷のため予算計上	増刷のため予算計上	増刷のため予算計上	増刷のため予算計上		ふるさと名物「砂川スイーツ」を活用した観光振興事業に予算計上	ふるさと名物「砂川スイーツ」を活用した観光振興事業に予算計上	ふるさと名物「砂川スイーツ」を活用した観光振興事業に予算計上	「観光客の誘客に要する経費」に予算計上			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度事業なし	増刷分のみ計上のため減額	第6期総合計画の目標値を達成するため、増額		第6期総合計画の目標値を達成するため、増額	第6期総合計画の目標値を達成するため、増額	同額		ふるさと名物「砂川スイーツ」を活用した観光振興事業に計上したため減額	ふるさと名物「砂川スイーツ」を活用した観光振興事業に予算計上					
	実績との比較 (増減理由)	見積り合わせによる減	同額	見積り合わせによる減		見積り合わせによる減	見積り合わせによる減	見積り合わせによる減		同額						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：観光パンフレット発行部数	指標の求め方：観光パンフレット発行部数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：観光パンフレット設置施設数	指標の求め方：観光パンフレットを配置した北海道内の施設数

指標	活動指標 1 (単位/部)	計画値	5,000	3,000	3,000		3,000	3,000	5,000		3,000	3,000	3,000	3,000	
	実績値	実績値	5,000	11,807	12,500		15,000	18,000	22,000		30,000				
成果指標 1 (単位/件)	計画値	80	100	130		160	182	182		182	182	182	182		
	実績値	0	87	115		141	150	150		147					
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					あまり達成されていない				ほぼ達成されている					
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					少し上がっている				少し上がっている					
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている				少し上がっている					
	総合評価					良好である				良好である					
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：観光パンフレットの新規作成を計画部数通り行ったが、完成が年度末であり、観光シーズンでもなかったため配布ができなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	判断理由：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数は計画値に至らなかったことから、良好であると判断した。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	判断理由：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数は計画値に至らなかったが、配布数は増えていることから、良好であると判断した。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	自己分析：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	判断理由：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。	判断理由：発行部数は計画値を越えている一方、設置施設数については計画値に至らなかった。
今後の方向性					現状のまま継続					現状のまま継続					
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：観光パンフレットは観光客に対する観光PRの基本部分であり、重要な部分であるとする。今後も事業を継続することで、砂川市のPRを図り、外部からの集客を誘致する。					H28：観光パンフレットは観光客に対する観光PRの基本部分であり、重要な部分であるとする。今後も事業を継続することで、砂川市のPRを図り、外部からの集客を誘致する。H28年度には、簡易パンフレットも作成するため、今後は増刷部数についても検討する必要がある。					H30：観光パンフレットは観光客に対する観光PRの基本部分であり、重要な部分であるとする。今後も事業を継続することで、砂川市のPRを図り、外部からの集客を誘致する。H28年度には、簡易パンフレットも作成するため、今後は増刷部数についても検討する必要がある。				